

1 単元名 Lesson21 If the world were a village of 100 people / Surfing English Reading (文英堂)

2 単元の目標

- 「If the world were a village of 100 people」の話に関心を持ち、ペアワークやグループワークを行おうとする。
(関心・態度・意欲)
- 意味のまとまり、発音やリズムを意識して音読することができる。また、興味を持った統計について、グループ内で自分の意見を発表する。
(外国語表現の能力)
- 世界人口を「100人の村」にたとえる発想のおもしろさや、それぞれの統計の内容を理解する。
(外国語理解の能力)
- 「believe in ～」、「such as ～」などの表現や意見の言い方を理解している。
(知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

世界の比率がどんなものであるのか、日本に暮らしていることや自分の生活についてなど、普段意識せずにいることを考えることができる。円グラフにすることで、生徒には理解しやすくなり、高校生の想像力に訴え、学習内容に発展性がある教材である。また、物事を別の視点から考えてみるきっかけとしても有効である。

(2) 生徒の実態

英語に対する意識調査 (平成26年*月*日 第*学年*人)

問1) 英語を学ぶ上でのモチベーションは何ですか。 ・進路 30% ・成績 30% ・特になし 20% ・語学力 11% ・会話力 7% ・検定試験 2%
問2) これから学びたいことは何ですか。 ・文法 28% ・英文理解 26% ・スピーキング 18% ・単語 15% ・リスニング 10%

(3) 指導観

ア 音読活動の工夫

生徒の興味が高い音読活動を取り入れることによって、まず英語に触れる機会を増やす。一人音読の後ペア音読・グループ音読を活用することにより、仲間と協力することで英語に親しみ、恥ずかしさが軽減され、自発的発話能力を高まると考える。基本的に、リレー音読とし、ペア音読は一人1文、グループ音読(4～5人)は一人2～3文ずつ読む。間違いに気づいたときには、お互いにその場で指摘訂正しながら進める。

一人音読の工夫……全員起立して音読を開始し、読み終わったら一旦着席する。その後また起立して音読する。この方法は、早く終わった生徒もまだ音読しているので、音読が遅い生徒も音読しやすくなる。教師は全員が読み終わるのを確認して、全員に終了を告げる。

グループ音読の最後に、Evaluation Card を用いて、お互いの音読を相互評価させ、振り返りを行う。単元の最後に音読テストを行い評価する(声の大きさ、流暢さ、制限時間(1分)、正確さ(間違いは3回まで) / 5点満点)。

イ 話し合い活動の工夫

5～6人のグループとなり、グループ音読の後に行うことで、雰囲気もよく、スムーズに話し合いが行える。

4 指導と評価計画 (6 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準(評価方法)
1	単語の意味確認、発音練習 内容理解 (Part 1)				○	・新出の語彙の意味や発音を理解している。(観察, ワークシート)
2	内容理解 (Part 1), 音読活動 (ペア音読, グループ音読)	○		○		・積極的に音読活動に取り組んでいる。 (観察) ・～について理解している。(ワークシート)
3	Part 1 のまとめ、確認テスト				○	・語句や文法事項の知識を身に付け、 文化的背景を理解している。(ワークブック, テスト)
4	単語の意味確認、発音練習、音読活動 (ペア音読) 内容理解 (Part 2)			○	○	・新出の語彙の意味や発音を理解している。(観察, ワークシート)

5	内容理解, 音読活動 (ペア音読, グループ音読), Part 2 まとめ	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に音読活動に取り組んでいる。(観察) ~について理解している。(ワークシート, ワークブック)
6	確認テスト (Part 2), 内容理解 (Part 3)		○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 語句や文法事項の知識を身に付け, 文化的背景を理解している。(テスト, 授業プリント) ~について理解している。(ワークシート, ワークブック)
7	Part 3 のまとめ, 確認テスト, 音読活動 (ペア音読, グループ音読)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に音読活動に取り組んでいる。(観察) 語句や文法事項の知識を身に付け, 文化的背景を理解している。(ワークブック, テスト)
8 本時	グループワーク (話し合い活動・発表)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> グループで興味を持った統計について, 協力して話し合いを進めようとしている。(観察) 興味を持った項目についてグループで協力してまとめ, 発表することができる。(ワークシート・発表)

5 本時の指導

(1) 目標

- グループで興味を持った統計について, 協力して話し合いを進めようとしている。(関心・意欲・態度)
- 興味を持った項目をグループごとに1つ選び, 協力して英語でまとめ, 発表することができる。(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

- ・教科書, ファイル, 辞書, ワークブック, CD, ワークシート

(3) 展開

	学習活動及び内容	時間	指導上の留意点 (◎ 評価) ☆A への手立て, ▲C の生徒への支援
導入	Review Q&A ・単元で扱った様々な統計項目 (人口・言語・宗教など) についての内容を確認する。 ・口頭で全体に質問4問する。 1) How many people would be from Africa? 2) What language would be spoken most in the village? など	5分	<ul style="list-style-type: none"> 内容理解に使用したワークシートを準備させ, 各自確認させる。 英語での質問にすぐに答えられない生徒には, What does "How many" mean? など key word となる語を取り上げ, "Check your work sheet."と指示し, 自分で答えられるように支援する。 必要に応じて, 英語の後に日本語のヒントを添えて質問する。
展開	1. 教師の説明を聞き, グループを作る。 (5~6人×7班)	2分	<ul style="list-style-type: none"> 各生徒にワークシートを配布し, 英語で Group work の内容を指示する。 既習のワークブックやワークシートを準備させ, 復習しながら選ぶように伝える。 具体的使用例を黒板に掲示する。 つまづいている生徒には, 個別に支援する。
	2. 各グループで興味のある統計内容を1つ選び, 円グラフを描き, タイトルをつける。	3分	
	3. 選んだ統計について話し合う前に各生徒がワークシートにまとめる。 1) 意見の言い方について表現を知り, 例文を音読する。	5分	
	2) 例文を参考に, 辞書を使いながらワークシートにまとめる。	7分	

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①グラフからわかったこと We can see ～.</p> <p>②それについての自分の意見 I think ～./ In my opinion, ～.</p> <p>③疑問点</p> </div> <p>4. 話し合いの係を全員で分担し、各グループで選んだ統計円グラフについて話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グラフから読み取れることを発表する。 2) 自分の意見を発表する。 3) 世界の状況を知り、自分たちの暮らしと比較してみて、お互いの感想を述べたり、疑問点を相談する。 <p>5. グループの発表内容をまとめる</p> <p>6. 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに黒板にタイトルとまとめた統計円グラフを書く。 ・グループごとに発表する。(7班) ・発表したグループの評価をする。 	<p>10分</p> <p>5分</p> <p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合いでは、英語でまとめた意見等を必ず発表し、なるべく英語で話し合うように促す。 ・相づちのリストを確認させる。 ・発表する際には、自分の意見の言い方に注意するようにアドバイスする。 <p>◎グループで興味を持った統計について、協力して話し合いを進めようとしている。 (関心・意欲・態度：観察)</p> <p>☆英文内容をグラフにしたり、話し合いで、リーダーとしてまとめる。</p> <p>▲ワークシートに生徒が書いた英文を読む支援や、係の役割を果たすように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者の話す分担を決め、スムーズに発表できる準備をするように伝える。 ・他の生徒の発表を聞く姿勢について、話し合いをやめて聞くことに集中するように促す。 ・発表の評価の基準を確認し、生徒に主観ではなく評価の基準に合わせて評価するように伝える。 <p>◎自分たちの意見を発表することができる [表現の能力：ワークシート・発表]</p> <p>☆リーダーとして、発表をまとめる。</p> <p>▲声が小さい生徒の読み原稿は大きく書かせ、教師が高い位置で持ち、顔を上げて読む態勢を作り、前を向いて大きな声で発表できるように支援する。</p>
<p>まとめ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本時の活動の振り返り・自己評価 自己評価し、感想を記入する。 2. 次時の予告をする 	<p>3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々と比較して自分たちの暮らしについて、また今回の授業について自由にそれぞれの感想を書くように促す。